

～紫色の花～ 前号の最後の部分で取り上げた花を紹介



キキョウ キキョウ科

生薬名:桔梗(キキョウ)
 薬用部位:根
 応用:去痰、排膿、鎮咳
 花言葉:変わらぬ愛、誠実、従順
 その他:万葉集の秋の七草に詠まれているアサガオ。しかしアサガオは奈良時代に日本に伝わりました。他の句のアサガオもキキョウを思わせることから、万葉期のアサガオ=キキョウというのが定説になっています。



ルリタマアザミ キク科

生薬名:漏蘆(ろろ)
 薬用部位:根
 応用:解熱、解毒、消腫
 花言葉:鋭敏、権威、独り立ち
 その他:ルリタマアザミはヒゴタイ属でアザミの仲間ではありません。花が青紫色(=ルリ色)の球状で、葉にはアザミに似た硬くて鋭い棘があることからこの名がつけました。

アーティチョーク キク科

和名:チョウセンアザミ
 生薬名:アーティチョーク
 薬用部位:葉、花托、総苞片
 応用:利尿、強壮
 花言葉:警告、独立独歩、傷つく心
 その他:アーティチョークはアザミ属でアザミの仲間です。アザミは棘が多い花ですが、その棘が外敵から国を守ったとして、スコットランドの国花になっています。



～山桃のジャム作り～

ヤマモモ

生薬名:楊梅皮(ヨウバイヒ)、
 楊梅(ヨウバイ)

薬用部位:樹皮、果実

応用:火傷、下痢止め

花言葉:教訓、ただ一人を愛する、一途

その他:山に生え、モモに似た果実をつけることからヤマモモという名前が付けました。

モモという名前が付いていますが、ヤマモモはヤマモモ科、モモはバラ科で2つは全く別の植物です。



7/4にヤマモモのジャムを作りました。前回作ったルバーブのジャムと比較すると、酸味がありました。ヨーグルトやチーズケーキに合いそう！

リスもヤマモモが大好き！



～ナス科の花～

チョウセンアサガオ



生薬名:曼荼羅華(マンダラゲ)
 薬用部位:全草
 応用:鎮痛、鎮痙、鎮咳
 花言葉:愛嬌、偽りの魅力
 成分:アトロピン、スコポラミン
 などアルカイド系
 その他:江戸時代の医者、華岡青洲は実母の命と妻の失明という犠牲を払い、曼荼羅華を主成分とした全身麻酔薬、「通仙散」を完成させ、世界初の全身麻酔手術を成功させました。

コダチチョウセンアサガオ



応用:鎮痛、鎮痙、鎮咳
 花言葉:愛嬌、偽りの魅力
 成分:アトロピン、スコポラミン
 などアルカイド系
 その他:トランペットのような形をしていることから、別名エンゼルストランペットとも呼ばれます。しかし天使の名前とは裏腹に全草に毒があるため、扱いには注意が必要です。



異常気象の影響!?

暑い日が多かったり
 雨が少なかったりと、
 近年問題になっている
 異常気象。その影響が
 薬草園にも・・・



9月になるはずのオタネニンシンの実がすでに!